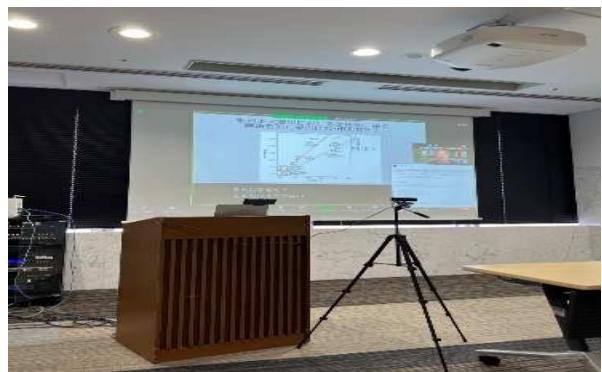


2021 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	環境リハビリテーション科学研究会
活動テーマ	災害時における障がい者支援技術の向上を目指して



自治会とのオンライン情報交換会



オンライン講演会 1



オンライン講演会 2



仙台市立荒浜小学校

東日本大震災の経験を踏まえ、災害時における障がい者の避難の為に平時に対策可能なバリアフリー環境を検討し、障害の基本的特性を学び、災害時のサポートに役立てることを目的として活動を実施した。

情報収集として障がい者の生活状況や障害の特性を障がいの当事者やサポートするメンバーとともに情報交換会を開催し様々な自治会の状況を確認した。特に地元企業や救急体制と連携を図る地域もあり、自治会の状況は様子が異なることが明らかとなった。

また、講演会として同志社大学立木先生、トイレ研究所加藤所長を招き講演会を開催した。これまでの災害経験者から得られた調査結果や、避難所における障がい者の困りごと、環境改善の必要性、どのようなエリアで被害が多くなっていたか過去のデータを基に分析し解析結果を詳細に説明いただいた。トイレ研究所の講演会では現在のトイレの仕組みや災害発生時どようになるか、自宅で気を付けるべき点、防災として準備すべき点などが大変役に立ち、多くの参加者が参考にしていた。今回の講演会により障がい者災害時支援の歴史やトイレのシステム、現状など基盤を構築することが可能となった。

さらに、宮城県石巻市の被災地・仙台市立荒浜小学校を訪問し、防災環境都市推進室 K 様から被災時の状況の詳細や、避難の判断の困難さなどを確認し記録としてまとめた。また、せんだいメモリアル交流館に勤務されている津波被害を受けた介護施設に勤務していた H 様から当時の様子をお聞きし、記録・動画としてまとめることが可能となった。被災者として避難時の困難だった点、障がい高齢者の避難誘導、その後の避難所生活に関して話をお聞きし、被災後の生活の困難さや業務の難しさなどが確認できた。